



大佐和中学校吹奏楽部の生徒12名による「第28回議場コンサート」が、12月5日に開催されました。郷土への思いを込めた「ふるさと」、東日本大震災からの復興を支援する「あすという日が」、「日本を勇気づける名曲メドレー」の3曲が演奏され、聴く人を魅了する音色が議場に響き渡りました。



「未来永劫」

写真提供：青木・伊藤 充教 さん

## 富津絶景<sup>52</sup>

富津市内には、素晴らしいスポットがあります。こそり独り占めせず、欲びを分けてください。皆様のご応募をお待ちしております。  
(上記編集先まで)

12月定例会…………… 2 P

議決結果…………… 3 P

個人質問…………… 4～9 P

行政視察報告……………10～11 P

トピックス・定例会日程……………12P

# 12月 定例会

## ◆ 条 例

▼国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定

出生した被保険者等に係る国民健康保険税を減額するため、条例の一部を改正するものです。

▼富津市民の森の指定管理者の指定

富津市民の森の指定管理者の指定期間が、令和6年3月31日をもって終了することに伴い、同施設の指定管理者を引き続き、千葉県森林組合に指定するものです。

## ◆ 補正予算

▼一般会計  
(1)補正予算第6号  
(補正額 2億707万円)

私立保育園等運営事業、生活保護扶助費、災害復旧事業などに係る経費および給与改定、時間外勤務などに伴う人件費などの補正をするものです。

▼一般会計  
(2)補正予算第7号  
(補正額 4億6689万円)

物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用したプレミアム付デジタル商品券事業、子育て世帯へのデジタル商品券給付事業、高齢者（75歳以上）へのデジタル商品券給付事業および物価高騰対応重点支援住民税非課税世帯特別給付事業に係る経費などの補正をするものです。

・デジタル商品券事業  
(1億2177万円)  
物価高騰により市民生活に大きな

令和5年12月定例会は、11月28日から12月19日までの22日間で開催されました。議案14件、報告1件、発議案1件、請願1件について審議を行いましたので、その主なものを報告します。なお、議案の採決の結果は、3ページをご覧ください。

な影響が及んでいる中、市民の消費を下支えするとともに、市内での消費喚起策として、デジタル商品券事業を実施します。

「デジタル商品券」スマートフォンなどで利用できる「Webブラウザ型」、スマートフォンなどで利用できない方に「カード型」のデジタル商品券を発行し、市内のデジタル商品券取扱店にQRコードを提示することで、買物や飲食ができます。

富津市プレミアム付デジタル商品券 共通券  
ふつつんPAY 5,000円  
8,000円  
10,000円で13,000円分使えるデジタル商品券  
https://futtssunpay.jp/

プレミアム付デジタル商品券のチラシ (イメージ)

## ◆ 発 議 案

▼富津市議会議員の請負の状況の公表に関する条例の制定

(提出者：平野 明彦 議員  
賛成者：平野・福原・佐久間・山田・千倉 議員)

市議会議員個人が市に対し請負をする者またはその支配人である場合における請負の状況を公表することに、請負の状況の透明性を確保し、議会の運営の公正および事務の執行の適正を図ることを目的に条例を制定するものです。

## ◆ 請 願

▼「特定商取引法平成28年改正における5年後見直しに基づく同法の抜本的改正を求める意見書」採択に関する請願

(提出者：千葉県弁護士会 会長 菊地 秀樹)

この請願は、マルチ取引等の被害に対処するため、訪問販売や電話勧誘販売について、消費者があらかじめ拒絶の意思を表明した場合に、勧誘してはならない制度とすることや事業者の登録制を導入すること等「特定商取引法の抜本的改正を求める意見書」を採択し、国に意見書の提出を要望するものです。

# 令和5年12月定例会の 議決結果

※議案14件、報告1件、発議案1件、請願1件の議決結果は次のとおりでした。

| 議案等   | 議決結果 | 宮崎晴幸 | 渡辺純一 | 三富敏史 | 福田好枝 | 関努 | 猪瀬浩 | 諸岡賛陸 | 千倉淳子 | 山田重雄 | 平野英男 | 佐久間勇 | 平野明彦 | 福原敏夫 | 石井志郎(議長) |
|---|------|------|------|------|------|----|-----|------|------|------|------|------|------|------|----------|
| 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例の制定 | 原案可決 | ○    | ○    | ○    | ○    | ○  | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | -        |
| 一般職の職員の給与等に関する条例及び一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例の制定              | 原案可決 | ○    | ○    | ○    | ○    | ○  | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | -        |
| 特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定                           | 原案可決 | ○    | ○    | ○    | ●    | ○  | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | -        |
| 議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定                             | 原案可決 | ○    | ○    | ○    | ●    | ○  | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | -        |
| 国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定  | 原案可決 | ○    | ○    | ○    | ○    | ○  | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | -        |
| 令和5年度一般会計補正予算(第6号)  | 原案可決 | ○    | ○    | ○    | ○    | ○  | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | -        |
| 令和5年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)                                      | 原案可決 | ○    | ○    | ○    | ○    | ○  | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | -        |
| 令和5年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)                                       | 原案可決 | ○    | ○    | ○    | ○    | ○  | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | -        |
| 令和5年度介護保険事業特別会計補正予算(第2号)  | 原案可決 | ○    | ○    | ○    | ○    | ○  | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | -        |
| 市道路線(旧県道君津大貫線)の認定についての議決の更正                                     | 原案可決 | ○    | ○    | ○    | ○    | ○  | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | -        |
| 富津市民の森の指定管理者の指定   | 原案可決 | ○    | ○    | ○    | ○    | ○  | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | -        |
| 人権擁護委員候補者の推薦につき議会の意見を求めること(2件)                                  | 原案同意 | ○    | ○    | ○    | ○    | ○  | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | -        |
| 令和5年度一般会計補正予算(第7号)  | 原案可決 | ○    | ○    | ○    | ○    | ○  | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | -        |
| 国民保護計画の変更の報告  | -    | -    | -    | -    | -    | -  | -   | -    | -    | -    | -    | -    | -    | -    | -        |
| 富津市議会議員の請負の状況の公表に関する条例の制定(発議案)                                  | 原案可決 | ○    | ○    | ○    | ○    | ○  | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | -        |
| 「特定商取引法平成28年改正における5年後見直しに基づく同法の抜本的改正を求める意見書」採択に関する請願            | 採択   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○  | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | -        |

議長は、地方自治法の規定により、採決に加わりません。  
議案名中の『富津市』及び『～について』は省略表示しています。

○ = 原案賛成 ● = 原案反対



## より良い富津市のために



関 努  
議員

**問** 今年7月から9月期のGDP

速報値は、前期比の年率換算で2・1%減となった。コロナ禍後の景気回復に停滞感を感じる。年末に行われる税制改正や予算編成の中で、1人4万円程度の定額減税やその他の支援について、政府は合意を図るとした。定額減税にも7万円の給付にも対象にならない人に対する支援について、支援が決まった時点で、いち早く展開できる準備が大事だと思うが。

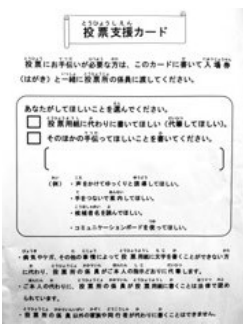
**市長** 物価高騰により国民生活に大きな影響が及んでいる中で、国において、さまざまな支援が論議されているが、国の動向を注視し、適切に対応できるよう努めていく。  
**問** 全ての障がいをお持ちの方が情報の取得や利用、意思疎通ができる社会を目指し、公的な通知について、音声コードの普及を早急に進めてはいかがか。

**健福部長** 今後、障がいのある方が自立して生活を送ることができるよう、先行事例を参考に有益な情報が提供できるよう努めていく。  
**問** 住民の利便性向上や封入作業・郵便に掛かる経費の削減のため、希望する方を対象にしたデジ

タルによる通知について伺う。

**企政部長** ふつつ子育てきずなLINEは、登録している方から好評を得ている。必要な方に必要な情報が届けられるよう、さまざまなデジタルツールを研究していく。  
**問** 障がいをお持ちの方の外出時の利便性向上と心理的負担の軽減が期待される、ミライロIDの導入について伺う。

**健福部長** 公共サービス利用時における利便性向上が期待できるため、ミライロIDについて、先進市の事例を参考に研究していく。  
**問** 投票に際して必要な支援を、口頭による申し出が困難な方や苦手な方が事前に記入できる、選挙支援カードの導入について伺う。



投票に際して必要な支援を、口頭による申し出が困難な方や苦手な方が事前に記入できる投票支援カード

**問** 学校図書館の役割について見解を伺う。

**教育長** 「富津市子どもの読書活動推進計画」を改定中だが、読書は子どもが人生をより深く豊かに生きるために不可欠なもので、本の楽しさや魅力を感じられる機会を設定し、読みたいときに本が読める、活用できる充実した学校図書館を目指している。

**問** 学校図書館の整備充実のうち、司書教諭や学校司書等の人材配置について伺う。

**教育部長** 司書教諭については、青堀小学校と富津中学校に配置されている。学校司書については、各学校の教員1名が担当している。また、市では読書支援員4名を雇用し、各学校に週1日5時間勤務している。蔵書管理システム導入に向け、バーコード登録の準備や蔵書の整理、環境整備にも当たっている。

**問** 子どもの読書活動の推進について伺う。

**教育部長** 毎月5のつく日を「読書の日」とし力を入れている。日常的に各学校が工夫を凝らし、朝読書、本を活用した授業、活用し

やすい学校図書館の環境づくり、ミニ図書館づくりを進めている。

**問** GIGAスクール構想により整備された1人1台端末の利活用について地域間、学校間で格差が生じているようだが、利用状況について伺う。

**教育部長** 週3回以上活用している学校は11校全校、そのうち、ほぼ毎日活用している学校は5校。今後も、教職員の研修等を実施し、端末の活用を図っていく。

**問** ICTに関する端末の今後の利活用について伺う。

**教育長** ICTを活用し、主体的、対話的な深い学びの推進と特別支援教育での有効的な活用や、その他さまざまな活用を推進していく。



国は第6次学校図書館整備計画をスタートさせ、学校図書館の整備充実を図っている



\*紙面の都合上、名称を以下のように省略します。

企政部長（企画政策部長）

建経部長（建設経済部長）

# ◆個人質問

## ゼロカーボンシティを 目指した取り組み

問 ゼロカーボンに向けて既に取  
り組んでいる事業等は。

市民部長 ごみダイエット作戦1  
00の推進、KCS（かずさク  
リーンシステム）電気の活用、住  
宅用設備等脱炭素化促進事業など  
なお、本庁舎省電力化を図るため  
照明のLED化を推進する。

問 ごみダイエット作戦100の  
具体的な内容等は。

市民部長 平成28年度の1人1日  
当たりのごみ排出量が県平均より  
143g上回ることから、100  
g減量为目标とした事業。令和4  
年度は36gの減量。削減影響分予  
算を来年度事業に充てたい。

問 生ごみ水分量に関わり影響は  
ないか。

市民部長 KCSでは水分量によ  
る影響はない。一方、その他の影  
響として、ごみ処理経費が重量に  
応じることから、水分量が多くな  
れば処理経費も増加する。

問 森林環境譲与税の活用による  
森林整備で伐採した木々は、最終  
的にどうなるのか。

建経部長 伐採した木々のうち、  
製材して利用可能なものは活用。  
枝葉など活用が難しいものは、自

然還元利用などを想定。

問 バイオコールというCO2削  
減が期待できる石炭代替燃料技術  
があるが、森林整備で伐採した木  
材をそれらに活用できないか。

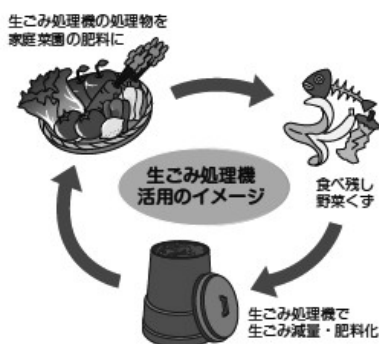
建経部長 木材活用は、有効な取  
り組みの一つだが、搬出などの経  
費や受入先の有無などの課題もあ  
る。今後、調査研究していく。

問 第2期広域廃棄物処理施設  
（上総安房クリーンシステム）でも  
活用が可能ではないか。

市民部長 バイオコールの一種で  
バイオコークスの実証実験が行わ  
れ、代替技術の確立はできつつあ  
るが、課題として運送や製造の低  
コスト化、製造時に必要なバイオ



渡辺 純一  
議員



コンポストの実施もCO2削減に寄与することになる

## 人口減少対策について

マス原料の確保、また、施設での  
保管スペースなど課題が多く、現  
時点では現実的ではないと判断。

問 次に、政府は「我が国の人手  
不足が深刻化する中、外国人の適  
正な受入れを図ることが欠かせな  
い」と言及。市の外国人労働者に  
関わる現状と今後の見通しは。

市長 各年12月末現在の外国人労  
働者は、令和2年145人、同3  
年121人、同4年141人。全  
国的には、平成19年以降、外国人  
労働者は過去最高を更新。富津市  
においても今後増えていくものと  
思われる。

問 地方自治体は、外国人就労課  
題の解決に向けた取り組みが求め  
られていると聞くが。

建経部長 厚労省千葉労働局は、  
外国人労働者への職業紹介や母国  
語で対応可能な労働相談窓口の設  
置、事業主の方には外国人労働者  
の雇用管理の改善に向けた指導、  
留学生の就職支援等を行っている。

問 市において、外国人労働者と  
地域住民の交流、理解促進等の活  
動実績があるか伺う。

教育部長 外国人のための日本語  
教室を中央公民館にて、毎月第

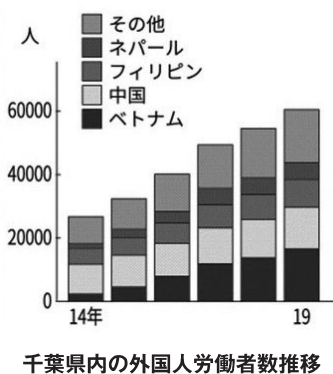
2・第4日曜日に実施。

問 その他組織との連携状況は。  
企政部長 市国際交流協会の活動  
として、青堀小学校・大佐和中学  
校で外国人生徒への日本語学習支  
援などを実施。

問 それら活動展開での課題は。  
企政部長 当該協会では、活動の  
担い手確保等が課題。

問 次に、出身地から転出する  
きっかけは、大学・大学院進学が  
約50%との調査報告がある。市に  
留まってもらうさらなる施策は。  
教育部長 先進地事例等も参考に、  
支援制度の検討を現在行っている。

問 自宅から大学等にバス通学す  
る方への交通費補助制度の検討は。  
企政部長 近隣市町で既に運用事  
例あり。その有効性や妥当性を踏  
まえ、検討していく。



\*紙面の都合上、名称を以下のように省略します。

企政部長（企画政策部長）

健福部長（健康福祉部長）

# ◆個人質問

## 誰もが暮らしやすい富津市へ

問 パートナーシップ制度とは、どのような制度か。

市長 日本では、同性同士の婚姻が法的に認められていない中、パートナーシップ制度は、自治体が独自に婚姻相当の関係と認める制度であると認識している。多様性を尊重するという社会情勢により、全国的に広まっている。

問 木更津市は令和5年4月にスタートしている。富津市も創設する予定があるか。

企政部長 令和6年中の制度運用開始に向け、市民等へのアンケート調査や庁内調整等を進めている。

問 この制度には法的な効力は無いが、創設されることで市民にとって、どのような利点があるのか。

企政部長 自治体がパートナーと公的に証明することにより、家族として、さまざまなサービスを受けられることがある。一例として公営住宅への同居、保険金の受け取り、各種家族割引の適用などがあるが、各自治体や民間事業者によってサービスの内容は異なる。

問 現在、市内の小中学校のトイレは、どの程度洋式トイレになっ

ているか。

教育長 課題であった老朽化したトイレの環境改善に取り組み、児童・生徒の減少による利用頻度の低いトイレや和式を希望する児童・生徒の声などを考慮し、全体の77・7%を洋式化。令和3年11月に改修工事が完了した。

問 小中学校の給食で特定の食材に対してアレルギーがある児童・生徒にどのように対応しているか。

教育部長 全てお弁当で対応している児童・生徒や、一部食べられないものがある場合には、代替のものを持参する児童・生徒もいる。アレルギーの事故を未然に防ぐため、学校と保護者が連携していくことが大切だと考えている。



福田 好枝  
議員



男女共同参画社会の実現に向けた取り組み

## 市民の健康を守る取り組み

問 君津中央病院大佐和分院の建て替えは、令和5年6月定例会で答弁した候補地のどちらを建設予定地と考えているのか。

市長 候補地は、現大佐和分院駐車場、富津市役所隣地のいずれかとなっている。建設地の決定は、君津中央病院企業団が主体となり、君津中央病院大佐和分院施設機能検討委員会の中で決定していく。

問 現在、市ではインフルエンザ予防接種費用の一部助成を中学3年生と高校3年生相当の方に行っているが、どれくらいの方が申請し、利用しているか。

市長 今年度から子育て世帯への新たな支援の取り組みの一つとして、重要な進路決定を控え、そのための準備など、保護者にとって経済的負担が大きいと思われる世帯への支援として実施している。申請状況については、11月末現在で対象者634人のうち、87人の方から申請書の提出があった。

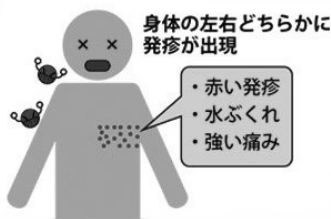
問 インフルエンザ予防接種費用の助成を18歳まで行ってほしいが、

いかがか。

健福部長 市長答弁にもあったように、経済的に負担が大きいと思われる世帯への支援として、市内在住の中学3年生と高校3年生相当の方を対象に継続的に実施する。

問 带状疱疹ワクチンは任意予防接種で全額自己負担。医療機関により金額は異なるが、生ワクチンは8千円、不活化ワクチンは1回2万2千円を2回受けるので4万4千円と高額になる。助成を考えると。

健福部長 带状疱疹の予防方法の一つとしてワクチン接種がある。国では定期接種化について適宜議論されているが、市では国の動向に注視し、助成の必要性について検討していく。



コロナ禍で増えているともいわれる带状疱疹

## 環境保全／安全、安心 なまちづくり



伊間 勇  
議員

**問** 環境保全に向けての市の考えと取り組みは。

**市長** 健康で文化的な生活を確保するため、施策を総合的かつ計画的に推進することが必要。富津市みらい構想の実現に向けて、市と市民が協働して環境の保全に関する各施策に取り組むことが重要。

**問** 市民の生活圏域において、行政が管理している道路等の除草は、どのようにしているか。

**建経部長** 職員で対応できるものは職員で実施し、難しい場合は業者に委託する。また、地元自治会等の環境美化活動で、協力いただくこともある。

**問** 良好な生活環境保全のため、生活圏域の環境整備を住民に委ねるような手法は考えられないか。

**市民部長** 現在、ごみゼロ運動をはじめ、市民と内外の企業やボランティアの方々に協力をいただいているが、さらなる環境保全意識の醸成を図るため、他自治体の好事例を参考に検討していく。

**問** 安全で安心して暮らせるまちづくりに向け、防犯面・防災面で今取り組んでいることは何か。

**市長** 防犯に関しては、電話で

詐欺などの被害防止の広報啓発活動や安全・安心メールによる注意喚起、市内防犯団体への防犯資機材の交付。防犯パトロールカーの貸し出しは、新たに1台寄贈され2台体制となった。防災に関しては、自主防災組織の結成促進、地域主体の地区防災訓練の支援など、地域防災力の強化に取り組み、職員は防災研修会や災害時に対応できるよう実動訓練を実施している。

**問** 津波対応の避難訓練が実施されたが、一人で行動できない人に対してはどうするか。

**総務部長** 避難行動要支援者名簿を災害時の安否確認等に活用していただくため、市と協定を締結した区に提供。避難方法や防災訓練等の助言、参加協力をしている。



地元愛！かたちに表す 地域の輪

## 産業が元気なまち／魅力ある学校づくり

**問** 産業が元気なまちに向け、市が取り組んでいる支援は。

**市長** 農業については、新たな担い手の確保・育成を行い、農地利用の姿を明確化する地域計画の策定を推進。青年就農者への経営確立支援、認定農業者等への経営安定化に向けた設備等の支援を実施。

水産業では、魚介類等種苗放流事業への補助、ノリ養殖の魚類による漁港施設の長寿命化対策や新たな担い手の確保・育成として2名の地域おこし協力隊を任用した。

**問** 藻場が干潟に見られず、漁獲に影響している。アマモ類の復活についての情報と市の考えは。

**建経部長** アマモ類が植生する場所は、産卵や幼稚魚の生育する場となるほか、二酸化炭素を吸収するブルーカーボンとしての役割を持つ。漁場環境の保全や地球温暖化対策においても重要である。

**問** 魅力ある学校づくり、地域との関わりについての考えは。

**教育長** 魅力ある学校とは、子どもたちが元気に活躍し、互いに学び認め合い、自己有用感を高め、安心して学校生活を送れる学校。

また、富津市の産業・文化財・人材を活かした体験を通して、ふろさと富津市で学んだことに誇りが持てるような教育が大切。少子化が進む中で、地域の方々と子どもたちの関わりを深めることが、より一層求められている。

**問** 学校教育の中で地域力を導入した事例はあるか。

**教育部長** 生活科の町探検、社会科での市内巡りやキャリア教育。

市の産業や歴史について地域の方々と交流し、学びを深めている。

**問** 教職員の働き方改革の対応は。

**教育長** 仕事は、授業だけでなく、生徒指導や事務処理と多岐にわたる。勤務内容を精選し、スクールサポートスタッフを配置するなど、教職員の働き方改革を進めている。



つながってる!!



## 喫煙事情について

**問** たばこは大人の合法的嗜好品。J R 東海・西日本・九州では、新幹線車内を全面禁煙にする発表。喫煙率の低下や健康志向等が要因と考えられる。健康ふつつ21に鑑み、たばこについて何うが、市の喫煙防止に対する周知と啓発は。

**市長** 平成30年に改正された健康増進法により、市本庁舎周囲に禁煙の重要性や受動喫煙防止に対する啓発ポスターを掲示。また、市ホームページで受動喫煙防止等に対する周知を図っている。

**問** たばこによる健康被害は、がんや循環器疾患等に影響があり、受動喫煙もがんや虚血性心疾患等に影響を与える。また、未成年者の早期喫煙も、たばこが原因の病気で死亡するリスクが高まる。さらに習慣になりやすいので、健康に対する影響は大人以上に大きい。市における子どもや未成年者への喫煙防止対策は。

**教育部長** 喫煙は習慣性があり、煙には数多くの有害物質が含まれること。また、身体に悪影響を及ぼすことを小学校6年生や中学校2年生の保健の授業で学習している。



三富 敏史  
議員

**問** 妊娠中の喫煙も早産・流産をはじめ、胎児の発育異常等の危険性を高めると言われる。減少させるためには、妊娠期の禁煙支援に積極的に取り組むことが重要であるが、市における妊産婦の喫煙割合は。

**健福部長** 平成19年度当時1割程度あった妊婦の喫煙は、年々減少し、令和4年度の喫煙者はいない。ひと昔前までは紙たばこが主流であったが、今では20%以上を加熱式たばこが占めている。市における庁舎内の喫煙規則や指針は。

**健福部長** 受動喫煙防止のための措置として屋外に設置した「特定屋外喫煙場所」に限り、喫煙を認めている。また、公用車は全面禁煙である。



「受動喫煙のない社会を目指して」  
ロゴマーク

## 8050問題について

**問** 8050問題は80代の親が50代の子どもの生活のため経済的、精神的に強い負担を請け負う社会問題。市は8050問題をどのように認識しているのか。

**市長** 大きな原因は、ひきこもりの長期化など、親の年金等の収入を頼りに生活している深刻な社会問題として認識している。

**問** ひきこもりは、半年以上にわたり仕事や学校に行けず、家族以外の人と関わることなく自宅から出られない状態を言う。ひきこもりが認識されたのは1980年代。当時ひきこもりの若者が40〜50代、その親が70〜80代になっている現状に対し、市はどのような対策を講じているのか。

**健福部長** 市基幹相談支援センターにひきこもり窓口を開設し、相談対応を行っている。また地域の区長、民生児童委員や地域包括支援センター等と連携を図っている。

**問** ひきこもっている本人や家族は、周囲や行政に相談しないので社会から孤立することが多い。市はひきこもり対応をどのように関係機関と連携しているのか。

**健福部長** 相談の中には精神疾患

が原因の場合が多く、その大半が未治療のままである。関係機関との会議で、情報共有や支援方法を検討していく。

**問** 長期的なひきこもり状態にある人への就労支援は。

**健福部長** 就労準備支援事業で、社会参加に必要な生活習慣や就労に向けた技法等の習得訓練を実施。

**問** ひきこもりから独り暮らしの高齢者になると、援助を受けずにひきこもってしまう場合がある。介護サービスのサポート体制は。

**健福部長** 地域包括支援センター等と連携し、生活支援に係る情報提供を実施。また、電力会社や郵便局、民生委員等の地域住民による見守り体制の構築を図っている。



ひきこもり、不就労の若者と母親

## 富津市(飯野地区周辺)の まちづくりについて



猪瀬 浩  
議員

**問** 令和5年3月定例会の一般質問で答弁した市役所周辺のまちづくりについて、もう少し詳しく説明してもらいたい。

**市長** 住環境としてのポテンシャルが高まっていると捉え、現在、継続して千葉県と協議を行い、人口増加につなげるため、市庁舎周辺における住宅地等の整備手法の検討を進めている。

**問** 市役所周辺である飯野地区についても、県と交渉しているのか。

**建経部長** 富津都市計画区域の市庁舎周辺の市街化調整区域において、農業振興地域や埋蔵文化財包蔵地、今年度開通予定の道路などを勘案し、検討を進めている。

**問** 地域住民等との合意形成の図り方は。

**建経部長** 地域住民との合意形成は大変重要な要素。千葉県との協議の進捗状況に応じ、整備の方向性を踏まえ、地域の皆様からご理解をいただけるように進めていく必要があると考えている。

**問** この10月に文化庁が内裏塚古墳のみならず、内裏塚古墳群全体を国史跡相当に値すると発表した。富津市の内裏塚古墳群等の史

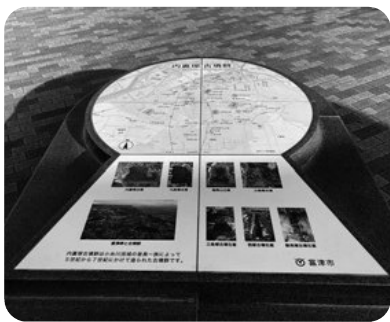
跡文化保護に関する考え方は。

**教育長** 日本の古代史を語る上でも欠かせない重要な遺跡と認識。しかしながら、その遺跡の多くが民有地であることから、土地所有者の意向確認や近年進む周辺開発と文化財保護の両立等の課題がある。先人から大切に守り伝えられ

てきた姿を損なうことなく保存し、景観やその特徴を活かした活用を図る必要があると考える。

**問** 保存整備計画の策定は。

**教育部長** 内裏塚古墳群としての国史跡化を目指し、史跡内裏塚古墳群保存活用計画の策定を検討していく。文化庁の支援として、保存活用計画策定や史跡整備への補助金制度があるので、必要に応じて活用していく考えである。



着々と進む道路網整備に宅地開発等の期待が膨らむ中も、着実に進められている内裏塚古墳群の保存計画

## 外部評価委員制度の導入について

**問** 子どもの数が減少している中、市中期収支見込み説明の際に「物価上昇等によって公共施設の維持管理計画に大きな影響が出てい

る」とのことであった。そこで将来過剰な負担が掛からない公共施設総量にするためにも、学校施設内に公民館機能を持たせたり、幼保小連携施設等への転換も検討していくべきと考えるが。

**企政部長** 同じ機能を持つ複数施設の統合、異なる機能を持つ施設を一つの施設にする複合化等の手法がある中、最適な手法を選択していきたいと考える。

**問** 毎月の住基の人口情報を見ると、6年後には現在600名を超えている青堀小児童数が500名を切る見込み。飯野小は約100名。富津小は約70名。大貫小・吉野小・佐貫小合わせて現在300名程度なのが、200名程度。こんな状況が見え始めている。市として具体的なまちづくりビジョンを示すべきではないかと考える。

ところで、市内に宅地を増やすという点で、元大堀バスターミナル候補地の宅地化の話があったと思うが、進捗は。

**企政部長** 市みらい構想に掲げた優良な住宅地とするため、今年度中に売却に向けた公募を行う予定。

**問** 市職員の方々がいろいろと頑張っていることは理解するが、外部評価委員を使える制度もあることから、外部評価委員を活用して、具体的に「この地区はこう発展させていく」等のまちづくりビジョンに対する議論方法等を、企画政策部における市長特命事項に加えたいと思うが。

**市長** 現在、大変なスピード感で、さまざまなことが変化していると感じている。どういう点で何をすれば富津市がよくなるのかということ、私を中心に、全ての部署で考えながら、行政を進めていきたいと考えている。



学校施設の複合化の在り方について～学びの場を拠点とした地域の振興と再生を目指して～(国交省資料より)

\*紙面の都合上、名称を以下のように省略します。

企政部長(企画政策部長)

建経部長(建設経済部長)

# 議会運営委員会行政視察報告

令和5年6月28日(水)～29日(木)

視察場所 茨城県取手市

東京都町田市

参加者 委員長 平野 明彦

副委員長 平野 英男

委員 佐久間 勇

山田 重雄

千倉 淳子

議長 石井 志郎

## 視察内容

### タブレット端末の導入と活用方法および住民参加と住民との情報共有について(取手市)

取手市議会は、コロナ禍でもタブレット端末を活用し、市民と対話を繰り返したことなどが評価され、早稲田大学マニフェスト研究所の議会改革度ランキングで2年連続1位を獲得した。

議会改革の基本精神は、リスクばかり考えるのではなく「とにかくやってみよう、チャレンジしてみよう」という精神に基づいている。

タブレット端末については「習うより慣れる」ということで、議員はいつ、どこにいても通信ができるセルラーモデルを使用。通信環境が整っていることで、オンライン会議や報告会、また、災害時には現場からのオンライン対応も可能となっている。



タブレット導入直後は紙資料と併用したが、その後はタブレットのみの使用とすることで完全ペーパーレス化を実現。また、タブレット以外の電子機器も持ち込むことで、複数の資料を同時に閲覧し、かつ、メモ書きも電子機器に行なうようになった。

市民との対話については、当初の議会報告会(議員個人の意見は述べない)から、現在では、意見交換会(議員個人の意見を述べる)に形を変え、商工会青年部や医療機関関係者、また、PTAなどを対象に開催している。

### 議会運営・議会改革および議会の情報共有・住民参画について(町田市)

町田市議会は、形式よりも議会改革の自身の充実を図るため、あえて議会基本条例を制定していない。

議会基本条例とは、市民と市議会との在り方や、市議会と行政とのあり方、また、議会や議員の責務などを定める条例で、議会改革を進める上で、議会の根本規定を示すもの。

しかしながら、議会での議論を活発にして開かれた議会づくりを推進し、市民の負託に応えるためには、形式的に条例制定するよりも、真に改革につながる行動こそが重要と考えている。

タブレット端末については、常に通信ができるセルラーモデルを使用。災害時の安否確認のためにも通信環境は必要不可欠。また、会議の円滑な運営に資するよう、1人3台まで電子機器の利用を可能としている。ただし、完全ペーパーレス化は義務としていない。

市民との対話については、各種団体との懇談会や高校生との意見交換会を行なっている。



## 総括

富津市議会では、令和5年3月議会から導入しているタブレット端末の利活用が発展途上中。また、平成27年度から実施している議会報告会が、コロナ禍の影響により休止状態にある。

両視察先とも、議会改革度ランキングで上位にある議会だけあって、新たな取り組みに柔軟にチャレンジする姿勢がある。予算の問題で早急に対応できないこともあるが、我々の意識が変わればすぐにも取り組めることは柔軟に対応していきたい。議会改革にゴールはないことから、今後も市民との対話のチャネルを広げる工夫を重ね、意見要望などを調査研究し、住民福祉の増進に寄与する政策実現に努めたい。





# 総務産業常任委員会行政視察報告

令和5年7月27日(木)

視察場所 千葉県船橋市

参加者 委員長 佐久間 勇

副委員長 三富 敏史

委員 石井 志郎

平野 英男

諸岡 賛陸

関 努

## 視察内容

### DX推進計画・書かない窓口について

「船橋市DX推進計画」は、デジタル社会実現に向け取り組みのために令和4年4月に策定した。

DX推進体制は、副市長が委員長となり「デジタル推進委員会」を設置。令和4年度は財務会計事務のデジタル化等、2回開催している。

デジタル人材の確保・育成については、新規採用職員、新任課長等を対象に、デジタル技術に関する事業紹介をDX推進係の職員が講師となり、実施している。

船橋市では、デジタル技術を活用した取り組みの一環として「市民サービスの向上」と「業務の効率化」を目指している。

また「書かない窓口」は、平成29年度に導入。窓口では、来庁者と職員がディスプレイで情報を共有し、住民異動届等を作成。システムを使用していたが、業者が撤退したため、



令和4年度から職員が作成したエクセルを活用し、事業を継続。市民サービスの向上とペーパーレス化を推進している。

## 総括

船橋市のオンライン化やDXの推進に向けた取り組みは、65万都市だからこそ実現できるデジタル技術と感じた。富津市でも市民サービスの向上に向け、ぜひDXを推進していきたいと考える。

今後、デジタル技術をフル活用していかなければならないと思われるが、船橋市と富津市では規模が違うので「どこまでを叩き台にして利便性向上を目指し、職員の業務効率化につなげていくか」と感じた。

# 教育福祉常任委員会行政視察報告

令和5年7月13日(木)

視察場所 茨城県龍ケ崎市

参加者 委員長 三木 千明

副委員長 宮崎 晴幸

委員 山田 重雄

千倉 淳子

猪瀬 浩

福田 好枝

## 視察内容

### 子育て環境日本一を目指す取り組みについて

視察先の茨城県龍ケ崎市は、県南部に位置する人口7万5千人の自治体で、富津市と比較し、人口は2倍弱で予算規模も大きく、都心からのアクセスも良い。

子育て施策は「龍ケ崎市子育て応援都市」を宣言し「子育て環境日本一」を推進している。

駅前子どもステーションは、送迎ステーションと子育て支援センターの機能を持つ子育て支援施設。送迎ステーションは、保育所等に送迎が難しい保護者の代わりに、担当スタッフがバスで送迎し、子育て支援の一助となっている。設置場所は龍ケ崎市駅前。立地条件等も考慮した施設で、利用者満足度は高いとのことであった。

子育て支援コンシェルジュは、駅前ステーション、市役所窓口、電話応対、メールなどで、子育て等の悩



み相談等専門のスタッフが対応する事業で、富津市でも各保育施設等で実施している。

さんさん館は、子育て支援センター、ファミリーサポートセンター、保育ルーム、市役所の出張所機能を有する複合施設が商業地にあり、子育て支援等を行っている。

龍ケ崎市の立地、地形等を生かした「駅前ステーション」などは、とても参考になった。

## 総括

人口、予算等も富津市より多いが「子育て支援事業」については、富津市も同様な事業を実施している。

それぞれの事業を利用する保護者等への啓発、利用しやすい工夫などが必要と感じ、富津市の子育て支援策の新たな展開への情報提供をするためにも、引き続き、調査研究していく必要がある。



賀詞交歓会

1月6日に市役所1階ロビーで「令和6年富津市新春賀詞交歓会」が開催され、約400名が参加し、盛会に行われました。

## 能登半島地震で被災された方々への支援

富津市議会では、能登半島地震により被災された方々へのお見舞いと、一日も早い被災地の復旧・復興を支援するため、議員親睦会（議員積立金）から、日本赤十字社の「令和6年能登半島地震災害義援金」に対し、10万円を送金しました。

お知らせ

# 4月21日(日)は、富津市議会議員選挙の投票日です。

現在の議会広報委員の任期は、4月で終了します。

「議会だより」定例号は、新たな広報委員決定後に発行いたします。(8月予定)

## 編集後記

議会広報委員の任期は2年のため、この7名での編集も今回が最後となりました。次回から新たな顔ぶれで再スタートします。この2年を振り返る私たちの最後のつぶやきです。



読みやすい紙面を作成することを心掛けておりましたが、至らない点もあったことはご容赦ください。最後に市民の皆さまのご多幸をお祈り申し上げます。(宮崎 晴幸 委員)

4年間、議会だよりの編集に携わってきたが「富津絶景」写真のストックが無くなってきた。皆さん、待ってます!(渡辺 純一 委員)

市民の皆さまに分かりやすい議会だより作成に向け、議会事務局のサポートのもと取り組みました。これからも日々研鑽!(三富 敏史 委員)

議会の様子を市民の皆さんに届ける議会だより。意見を出し合う中で、学びや発見もあり、楽しい編集作業でした。(福田 好枝 委員)

伝わりやすく噛み砕き、4回の編集会議も心えて、試行錯誤で完成させた議会だより。できる日が楽しみと嬉しい『言葉』(佐久間 勇 委員)

未来を描く選択の春を迎えます。季節の変わり目に現れし者が、富津市議会だよりをさらに進化させるでしょう。(平野 英男 副委員長)

議会活動を分かりやすく市民の皆さまに伝える広報紙面作りに、委員長として心掛けてきました。(山田 重雄 委員長)

※本会議の中継をご覧ください。

★2月19日(月)午前9時30分から議場コンサートを開催します。出演は天羽小学校6年生の児童の皆さんです。

| 3月定例会日程 |       | 2月19日(月) |    |
|---------|-------|----------|----|
| 21日(水)  | 10時   | 議案の上程    | 開会 |
| 28日(水)  | 9時30分 | 一般質問     |    |
| 29日(木)  | 9時30分 | 一般質問     |    |
| 3月1日(金) | 9時30分 | 一般質問     |    |
| 5日(火)   | 10時   | 常任委員会    |    |
| 6日(水)   |       | 常任委員会    |    |
| 11日(月)  |       | 常任委員会    |    |
| 12日(火)  |       | 常任委員会    |    |
| 19日(火)  |       | 常任委員会    |    |



市議会ホームページ